

経営概要書

法人名：

株式会社 玉川サービス

(株 2)

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役社長 門脇 光浩	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課	
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国有林3014林班	設立年月日	平成3年10月22日	
電話番号	0187-58-3130	ウェブサイト	—	
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名		出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県		5,000	50.0%
	(株)玉川温泉		3,100	31.0%
	仙北市		1,000	10.0%
	(株)玉川温泉クアハウス生命の泉		900	9.0%
	合計		10,000	100.0%
設立目的	秋田県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備されることから、地区内の県有基盤施設の維持管理や給排水・給排湯施設の整備運営等を目的に、秋田県、仙北市、進出企業の出資により平成3年10月設立。			
事業概要	新玉川リゾート地区進出企業に対する玉川温泉の源泉供給管理及び給排水施設の運営管理、県営施設の指定管理等。			
事業に関連する法令、県計画	「北緯40度シズナルリゾート秋田」計画(指定区域)			

2 平成29年度事業実績

主たる業務である給排水施設の維持管理業務については、修繕計画に基づき予定していた機器関係の修繕や更新を計画通り実施し、安定運営に努めた。秋田県(自然保護課)より指定管理を受けている秋田県営玉川温泉ビジターセンターは、5月に玉川地区において熊による死亡事故が発生したことにより、風評被害ともいえる停滞した雰囲気が高い、7月は2週連続で大雨による国道の通行止めがあり、入館者数が大きく減少した。また、冬期間の道路除雪業務については、例年に比べ積雪量が多く、特に2月の稼働時間が例年より多かった。除雪車両については、老朽化が著しく適切なメンテナンスに注力し業務の安全を確保した。

<事業目標>

項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ビジターセンター来場者数(人)	目標	9,500	10,000	10,000	9,000
	実績	9,944	9,882	8,004	—
給水量(m³)	目標	131,500	119,600	98,000	110,000
	実績	134,819	114,813	105,527	—
顧客満足度指数	目標	84	85	86	86
	実績	85	86	86	—

3 組織

① 役員数(H30.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H29	H30	H29	H30	
常勤	1	1			支給対象者 (H29年度) — 人
内、県退職者					
内、県職員					平均年齢 — 歳
非常勤	4	4	1	1	
内、県退職者					平均報酬年額 (H29年度) — 千円
内、県職員	1	1			
計	5	5	1	1	
内、県関係者	1	1			

② 職員数(H30.4.1現在) (単位:人)

区分	H29	H30	正職員
正職員			
内、県退職者			
出向職員	1	1	平均勤続年数 — 年
内、県職員			
臨時・嘱託	1	1	平均年収 (H29年度) — 千円
内、県退職者			
計	2	2	
内、県関係者			

③ 取締役会回数

平成28年度	平成29年度
5	4

4 財務

① 損益計算書 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度
売上高	30,050	27,389
売上原価		
売上総利益	30,050	27,389
販売費及び一般管理費	27,517	27,235
人件費(売上原価含む)	5,287	5,778
営業利益(損失)	2,533	154
営業外収益	5,626	2
営業外費用	1	
経常利益(損失)	8,158	156
特別利益		
特別損失	7,908	
法人税、住民税・事業税	124	103
当期純利益(損失)	126	53

② 貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度
流動資産	33,734	25,156
固定資産	247	777
資産計	33,981	25,933
流動負債	23,245	15,144
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	23,245	15,144
資本金	10,000	10,000
利益剰余金等	736	789
純資産計	10,736	10,789
負債・純資産計	33,981	25,933

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	0	0	

<主な経営指標>

項目	算式	平成28年度	平成29年度	H28-29増減※
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	129.6%	100.6%	△ 29.1
流動比率	流動資産÷流動負債×100	145.1%	166.1%	21.0
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	31.6%	41.6%	10.0
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

5 県の財政的関与の状況

区分	平成28年度	平成29年度	支出目的・対象事業概要等
年間補助金			
委託費	4,908	4,665	基盤施設維持管理業務及び基盤道路除雪業務
指定管理料	4,764	4,667	県営玉川温泉ビジターセンター指定管理
貸付金			
損失補償			
年度の残高			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 秋田県の「北緯40度 シーズナルリゾート秋 田」の地域指定を受 け、秋田県で整備した 施設の維持・運営管理 を行っており、公共的 な役割を担っている。	B 主たる業務と兼務であ るが、組織体制は整っ ている。取締役会を法 定回数開催している。	A 事業目標であるビジター センターの来場者数は風 評被害とも言える状況下 で前年を下回った。給水 量、顧客満足度では目標 を上回っている。	A 今期は減収減益ではある が、単年度黒字を達成 し、累積債務もない。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 県がリゾート構想に基 づく新玉川地区に整備 した施設の維持管理を 行っており、また同地 区の施設に対して上水 道の供給等を行うなど 公共的役割を担ってい ると認められる。	B 取締役会は4回開催さ れており法定回数を満 たしている。常勤の役 員及び職員がおり体制 は整っている。	A ビジターセンターの来場 者数は下回ったものの、 給水量、顧客満足度指 数は目標を上回っている。	A 単年度損益が黒字であり 累積債務もないことから A評価とする。

III 外部専門家のコメント

給水量が減少し(湯治館そよ風の解体工事の影響)、減収となった一方、営業費用は小幅な減少にとどまったため、減益となった。引き続き黒字を確保してはいるが、金額は53千円と僅少である。昨年、民事再生債権の貸倒処理を行った結果、身軽になったのではないかと。借入金も累積債務もなく、今後収支トントンを維持できればいいが、利益剰余金は789千円と少なく、純資産も薄い。来期の事業計画では、給排水関係設備の大きな交換や修繕が予想され、また除雪車の修繕や整備費の増加が見込まれていることから、現状財務基盤が安定しているといっても、楽観はできない。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画書は 「県出資の経緯や県の 施策上の問題等によ り、直ちに県関与の縮 小・廃止を図ることが 困難な法人」に位置づ けられている。県が策 定したリゾート構想に 基づき、指定地域内の 施設に対する水道及び 温泉の供給等を行っ ており、引き続き、安 定した事業実施が望ま れる。	B 常勤の役職員がおり、 組織体制は整ってい る。 充て職員の取締役会 への欠席が見受けら れ、今後、適切な関与 が期待される。	A 給水量及び顧客満足度 については、事業目標 を達成している。エリ ア内の給排水事業等の 安定的な実施、ビジタ ーセンターの来場者の 確保に向けた取組が期 待される。	A 単年度経常黒字を維持 しており、累積債務も なく、評価できる。引 き続き、コスト管理の 徹底等による黒字確保 が求められる。

V 前年度委員会評価

1 公共的役割	A	2 組織体制	A	3 事業実施	B	4 財務状況	A
---------	---	--------	---	--------	---	--------	---

評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組(概要)

・(株)玉川温泉クアハウス生命の泉で旧湯治館そよ風を継承するにあたり解体工事を実施したため、負担金収入(水道料金)は基本料金だけとなる他、新玉川温泉が改修工事の為冬期間休業することになり減収は明らかであったので、一般管理費の節減に取り組んだ結果、僅かであるが当期利益を計上することができた。
・給湯管の更新費用にあてるために積み立てていた設備積立金は、継承先である玉川温泉クアハウス生命の泉の意向により契約解除することとなり、設備積立金は返金精算され資金面では減少することとなった。しかし、急な修繕に対応する必要があるため300万円を預り、緊急時はその資金で対応するので財務面においても安定している。